

(独)産業総研 & 九大 バイオマスセミナー

趣旨; バイオマス利用については、大震災の影響でエネルギー政策の見直しを含め、様々な議論がなされているところである。バイオマス利用については、材料の供給側である農業サイドと変換技術、利用サイドである工学サイドが綿密な連携と両者を最適化したシステムの確立が求められ、常なる情報交信・更新が必要である。我が国、バイオマス技術の中核である産業技術総合研究所と九州の教育、研究の拠点である九州大学で、特にバイオマス生産能力が高く、バイオマス利用先進地の一つである九州を主対象にして、情報の共有と交換を促進するものである。

今回は、主に九大農学部で行われているバイオマス研究から数題を抽出し、話題提供を行い、情報の共有と交換を図るものである。

日時; 11月11日 (金) 15:00~17:00

場所; 九州大学 箱崎キャンパス 21世紀プラザ 2階 第2講義室

(セミナーは九州大学大学院教員、学生や産業総合技術研究所の研究者を中心とし、クローズドタイプとする。)

主な話題提供者と話題

中司 敬教授(農業生産生態学分野); 「地域資源と地場技術による資源循環型バイオマスプロジェクト」

近藤隆一郎教授(森林圏環境資源科学分野); 「木質バイオマスのバイオリファイナリー」

凌 祥之 教授(灌漑利水学研究分野); 「バイオマス由来エネルギー残渣の農地施用技術」

世話人 凌(しのぎ)祥之(生物生産環境工学分野) 内線2909(e-mail; yshinogi@bpes.kyushu-u.ac.jp)

後援; 九州大学 東アジア環境研究機構



KYUSHU UNIVERSITY